

社[やしろ] 中世歴史シンポジウム

蘇れ!! 神と仏が出会う里

令和3年 11月20日(土)

湯原ふれあいセンター
岡山県真庭市豊栄1515番地

社地域で昔から大切に守られてきた式内八社をはじめとする史跡と景観を、広く知ってもらうためのシンポジウムを開催します。

歴史が織りなす「大御堂」の物語に想いを馳せてみませんか。

午前の部

中世史跡見学会 30名

【現地案内】社地域振興協議会の皆さん、前原茂雄氏(真庭市蒜山郷土博物館長 / 中世庄園・村落史)

午後の部

歴史シンポジウム 60名

【基調講演・鼎談】

前原茂雄氏(真庭市蒜山郷土博物館長 / 中世庄園・村落史)

黒田龍二氏(神戸大学名誉教授 / 古代・中世建築史)

山崎真由美氏(一級建築士・ヘリテージマネージャー)

※オンラインで同時配信します。

参加方法

参加費無料

以下の3つの参加方法からお選びいただけます。

- ①現地説明会・シンポジウム(現地参加)
- ②シンポジウムのみ(現地参加)
- ③オンライン参加(シンポジウム視聴のみ ※最大100名)

※現地説明会のみ参加はありません。

おみどう
大御堂編

社地域には、中世の神社や御堂、石造物、城跡などの歴史遺産が数多く点在しています。

平安時代の編纂書『延喜式』に記載された重要な神社は、「式内社」と呼ばれていました。社地区には実に8つの「式内社」が集中しており、古代から神聖な場所とされてきました。古い形をとどめる祭りや行事も残っており、今なお、地域の方々によって大事に守られ、次の世代へと受け継がれています。

平安時代後期の社地域は、京都にある仁和寺(にんなじ)の領地となりました。仁和寺は社地域の支配を円滑に進めるため、多くの寺院施設を新しく建築し、水田の開発も進めました。社地域は、神の聖域に新たに仏教の要素が加わり、神仏習合の世界として歴史を歩んでいます。

現在の大御堂は、仁和寺との関係が強く感じられる建造物です。柱の一部には12世紀末のスギが使われていることもわかりました。現在の建造物は、最終的に安土桃山時代に再建されたと伝わります。当初の規模、位置、役割などをめぐって多くの謎が残されています。

【アクセス】

米子自動車道湯原インターチェンジを下車後、国道313号を湯原温泉方面に約3km。車で約5分。

【お問い合わせ先】真庭市役所 湯原振興局 地域振興課
☎0867-62-2011 ✉chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp

社地域から望む櫃ヶ山



大御堂で行われる百万遍数珠回し



式内社5社が祀られている二宮神社

蘇れ!! 神と仏が出会う里 おみどう 大御堂 編

当日スケジュール

- 9:00 中世史跡見学会 受付(湯原ふれあいセンター)
- 9:30 出発
「式内八社と中世史跡をめぐる」
現地案内(案内人:社地域振興協議会の皆さん、前原茂雄氏)
- 11:30 終了
- 【各自昼食・休憩】
- 13:00 歴史シンポジウム開会
主催者挨拶・趣旨説明
- 13:10 基調講演「式内〈八社〉と中世仁和寺支配」
前原茂雄氏(真庭市蒜山郷土博物館長/中世庄園・村落史)
- 14:10 基調講演「建築史から見る大御堂の歴史的意義(仮)」
黒田龍二氏(神戸大学名誉教授/古代・中世建築史)
- 15:10 休憩
- 15:20 コメント 山崎真由美氏(一級建築士・ヘリテージマネージャー)
- 15:30 鼎談「大御堂と歴史的景観～保存と地域づくり～」
黒田氏・山崎氏・前原氏
- 16:15 閉会挨拶
- 16:20 終了

感染症対策にご協力お願いいたします。



講師等の紹介



前原茂雄氏

真庭市蒜山郷土博物館長
中世庄園・村落史

九州大学大学院博士課程単位取得退学。九州大学学術研究員を経て、2014年より真庭市蒜山郷土博物館館長。2021年、蒜山ミュージアム館長を兼務。日本中世の庄園・村落史を専門。



黒田龍二氏

神戸大学名誉教授
古代・中世建築史

神戸大学大学院博士課程修了。神戸大学助手を経て、2011年より神戸大学教授。2020年、名誉教授。古代・中世の神社・寺院建築を専門とする。文化庁文化審議会専門委員ほか、多くの自治体で文化財審議会委員を歴任。学術博士。



山崎真由美氏

一級建築士
ヘリテージマネージャー

一級建築士。(一社)岡山県建築士会、岡山ヘリテージマネージャー機構に所属。(一社)勸進プロジェクト事務局を務める。先人からの建築技術を研究し、古い建物を残していく活動に従事している。

申込方法

締め切り日:令和3年11月15日(月)まで
FAX送信先:0867-62-2097(湯原振興局)

申込フォーム



参加には事前の申し込みが必要です。

下記の参加申込書をお近くの振興局まで提出・湯原振興局へFAX送信いただくか、右入力ホームでお申し込み下さい。オンライン参加希望者には、参加用のURLをメールにて送らせていただきますので、必ずメールアドレスをご記入ください(オンライン参加希望の場合はできるだけ申込フォームをご利用下さい)。

参加申込書

参加希望のプログラム ※いずれかを○で囲んでください。		①現地説明会・シンポジウム (現地参加)		②シンポジウムのみ (現地参加)		③オンライン参加 (シンポジウムの視聴のみ)	
氏名	(フリガナ:)			連絡先			
住所	〒						
メールアドレス	※オンライン参加希望の方は必ずご記入下さい。						